

授業科目名	幼児への特別な支援		科目コード	204028	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	2年
担当教員	成川 菜由		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無)		
	実務経験内容 障害福祉サービス事業所である就労移行支援事業所に5年間勤務し、主に障がい者の就労支援業務に従事。 障がい者への就労支援の実務経験を活かし、各障がいの特徴や保護者への支援を理解させる授業を行う。				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	よくわかる障害児保育 第2版			
	著 者	尾崎康子(他) 編			
	出版社	ミネルヴァ書房			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 特別の支援を必要とする幼児(知的障がい、発達障がい、肢体不自由、聴覚障がい、聴覚障がい等)の心身の発達と心理的特性および学習の過程を理解し、保育者としてどのような支援ができるか説明することができるようになる。 ・ 関係機関や家庭と連携して支援体制を構築することの必要性を理解し、事例を元に具体的な支援方法を検討することができるようになる。 ・ 母国語や貧困などの特別の教育的ニーズのある幼児児童の現状や支援について概要を理解し、保育者としてどのような支援ができるか説明することができるようになる。					
<授業の概要・授業方針> ・ 近年、幼稚園・保育所で、障がい児とその他の特別な配慮を要する子どもが増えてきており、幼稚園教諭や保育士がこれらの子どもたちについて理解していることが求められている。まずは、障がいについて興味、関心を持たせるために今までの経験談を伝えながら、授業を行う。 ・ 各障がいのある幼児の発達や特性、保育者の支援の方法について学ぶことで、今後保育現場で出会った幼児や保護者に対しどのように対応していくべきか考えることができるようになる。 ・ 個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成の基礎について学び、保育現場にて他機関との連携にて活かすことができるようになる。					

<p><成績基準・評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績基準 優：80点以上、良：70点以上、可：60点以上、不可：59点以下 ・レポート50%・科目終末試験50% 60点以上をもって合格とする。
<p><使用問題集・注意事項></p> <p>テキスト：尾崎康子（他）編 『よくわかる障害児保育 第2版』 ミネルヴァ書房</p>
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な障がいの特徴について、下調べをしておくこと（予習60分、復習60分）。 ・特別支援学校学習指導要録解説（幼稚部・小学部）の自立活動の内容や指導計画の作成に関する部分を事前に目を通しておくこと。 ・文部科学省のHP『外国人幼児等の受入れにおける配慮について』の資料を事前に読んでおくこと。

授業科目名	幼児への特別な支援（授業）	
回	授業内容	備考
1	幼児への特別な支援 概要 オリエンテーション	
2	①特別支援教育に関する理念や制度（1）	
3	①特別支援教育に関する理念や制度（2）	
4	①特別支援教育に関する理念や制度（3）	
5	②発達障がい児、知的障がい児の発達と学習の過程について理解する。（1）	
6	②発達障がい児、知的障がい児の発達と学習の過程について理解する。（2）	
7	②発達障がい児、知的障がい児の発達と学習の過程について理解する。（3）	
8	まとめ、レポート(1)	
9	③視覚障がい児、聴覚障がい児、肢体不自由児、病弱児等の学習上および生活上の困難に関する基礎的な知識を理解する。（1）	
10	③視覚障がい児、聴覚障がい児、肢体不自由児、病弱児等の学習上および生活上の困難に関する基礎的な知識を理解する。（2）	
11	③視覚障がい児、聴覚障がい児、肢体不自由児、病弱児等の学習上および生活上の困難に関する基礎的な知識を理解する。（3）	
12	④特別な支援を必要とする幼児への支援の方法について例示できる。（1）	
13	④特別な支援を必要とする幼児への支援の方法について例示できる。（2）	
14	④特別な支援を必要とする幼児への支援の方法について例示でき	

	る。(3)	
15	まとめ、レポート(2)	
16	⑤「通級による指導」および「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容を理解する。(1)	
17	⑤「通級による指導」および「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容を理解する。(2)	
18	⑤「通級による指導」および「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容を理解する。(3)	
19	⑥個別の指導計画と個別の教育支援計画を作成するための基礎的な知識を習得する。(1)	
20	⑥個別の指導計画と個別の教育支援計画を作成するための基礎的な知識を習得する。(2)	
21	⑥個別の指導計画と個別の教育支援計画を作成するための基礎的な知識を習得する。(3)	
22	まとめ、レポート(3)	
23	⑦園内連携と家庭および関係機関との連携の必要性について説明できる。(1)	
24	⑦園内連携と家庭および関係機関との連携の必要性について説明できる。(2)	
25	⑦園内連携と家庭および関係機関との連携の必要性について説明できる。(3)	
26	⑧母国語や貧困等の問題により特別な教育的ニーズのある幼児の生活上の困難や組織連携の必要性について説明できる。(1)	
27	⑧母国語や貧困等の問題により特別な教育的ニーズのある幼児の生活上の困難や組織連携の必要性について説明できる。(2)	
28	⑧母国語や貧困等の問題により特別な教育的ニーズのある幼児の生活上の困難や組織連携の必要性について説明できる。(3)	
29	まとめ、レポート(4)	
30	レポート、確認	